

# 買い物弱者支援事例紹介

## 買い物弱者とは

本県では、生活圏域の小売店の廃業や路線バスの廃止などにより、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている高齢者等と位置づけている。

買い物弱者数は、自動車の保有状況や代わりに買い物をしてくれる家族がいるかどうかなど個別事情があり把握が難しいが、高齢化の進展により今後も増加する可能性が高い。

## 買い物弱者支援の取組経緯

平成23年度：旧町村部特別支援・小規模集落対策プロジェクトチーム会議に「買い物弱者対策ワーキンググループ（WG）」設置

平成24年度：小規模集落を対象とした「買い物弱者支援事業」を開始

平成27年度：「買い物弱者支援事業」を「小規模集落・里のくらし支援事業」に統合

## 移動販売

(有)清川ふるさと物産館夢市場

豊後大野市清川

### 取組概要

- H24年度に、地域ニーズの高い移動販売に地域の活力あつての道の駅という理念で取り組みを開始した。
- 移動販売での地域住民とのコミュニケーションは、高齢者の見守りにもつながっている。
- 実施状況  
旧清川町全域、平日、毎日地区を決めて実施



### 取組ポイント

- 日ごとにルートを決め巡回することで、1週間で清川地区全域を網羅できるようにしている。
- コープおおいたと連携することで豊富な品揃え（約200品目）を実現している。
- 道の駅が運営することで、事業継続を可能とした。



## 地域商店

一般社団法人 コアやまくに

中津市山国

### 取組概要

- 中津市山国地域では、平成24年に、生鮮食料品を常時取扱う店舗が皆無となったことから、平成27年6月、地域の交流拠点コアやまくに内に市営スーパー「みんなのお店やまくに」をオープンした。
- 実施状況  
利用者数延べ28,622人（平成28年度）



### 取組ポイント

- 生鮮食料品のほか、日用品等を取り扱うことで、生活必需品が揃う店舗とした。（取扱商品数：約千点）。
- 中津市内の商店から商品を預かる受託販売により、他事業者との共存を図っている。
- 住民が仕事帰りに利用できるよう19時まで営業している。



## 灯油の宅配

小関石油

杵築市大田

### 取組概要

- H25年度に実施した住民アンケート結果により、ニーズの高い冬場の灯油確保のため、移動手段のない高齢者宅に新たに灯油タンクを設置し、定期的に補充することで見守りを兼ねている。
- 実施状況  
110戸（平成29年4月）



### 取組ポイント

- 注文の都度ではなく、ルートを決めて定期的に巡回することで業務の負担を軽減している。
- 大分石油(株)が灯油タンクのメンテナンスなど全面的にバックアップすることで、事業の継続性を確保している。

